

インフォシス、STARK グループと協業 Infosys Topaz を活用したデジタル変革を推進

インド(ベンガルール) - 2023 年 9 月 12 日: 次世代デジタルサービスとコンサルティングのグローバルリーダーである[インフォシス](#) (NSE, BSE, NYSE: INFY)は、本日、欧州最大の建築資材小売販売企業である [STARK グループ](#)との複数年にわたる戦略的協業の締結を発表しました。この協業では、インフォシスが最近発売を開始した [Infosys Topaz](#) (生成 AI 技術を活用した AI ファーストのサービス、ソリューション、プラットフォーム) を用いてデジタル変革を支援することを目的としています。その一環として、インフォシスと STARK グループはデンマークに最先端のデータセンターを開設し、技術進歩の促進と、欧州各地の STARK グループ拠点へのシームレスなサービス提供を実現していきます。

インフォシスは [Infosys Topaz](#) を使った「AI ファースト」アプローチを採用し、AI 活用によって業務効率性とサービス品質を向上します。さらに、クラウド対応プラットフォームである [Live Enterprise Application Management Platform \(LEAP\)](#)を駆使して、次世代アプリケーション管理サービスと [Infosys Cobalt](#) を提供し、STARK グループの IT 環境における自動化と IT 業務の継続的な改善・刷新を支援します。インフォシスは、STARK グループのコストと業務の効率性を高め、様々な地域における同社の事業拡大に貢献することを目指します。

STARK グループのグループ CIO である Pernille Geneser は次のように述べています。「STARK グループはインフォシスとの協業を喜んで発表します。当社はデジタル変革への取り組みを開始しました。今後は、最先端かつ未来適応型 IT サービスを北欧、オーストリア、ドイツ、英国の各拠点に提供していきます。インフォシスの専門知識を活かして、当社のサービス品質を向上し、多くの新しいイノベーションを創出していくことを楽しみにしています。」

インフォシスの EVP 兼小売・消費財・ロジスティクス事業部グローバル責任者である Karmesh Vaswani は、「デジタル化推進を目的とした STARK グループとの複数年にわたる協業を発表できて大変嬉しく思っています。Infosys Topaz やクラウド対応プラットフォーム LEAP など、当社の最先端技術を活用して Stark グループに比類なき価値とイノベーションをもたらすことができると確信しています。これから Stark グループと一緒に、デジタル化における成功、発展、達成といった将来の方針を決めていきます。今回の協業によって、北欧地域における当社の存在感はさらに高まるでしょう。」と述べています。

最近発表されたデジタル化推進に関する[ダンスケ銀行](#)との戦略的協業によって、インフォシスの北欧におけるローカリゼーション戦略は強化されました。インフォシスは、すでにデンマークにおいて [BASE ライフサイエンス社](#)、フィンランドでは [Fluidio 社](#)を買収しています。今回の STARK グループとの協業関係は、北欧においてインフォシスの存在感が高まっていることを示すものであり、同地域においてデジタル変革を推進している企業を支援するというインフォシスの決意を示す一例と言えるでしょう。

インフォシスについて

インフォシスは、次世代のデジタルサービスとコンサルティングの世界的リーダーです。30 万人以上の従業員が、人々や企業、コミュニティの可能性を最大限に引き出し、次の機会を創造するために活動しています。40 年以上にわたるグローバル企業のシステムと運営の管理経験を持ち、クラウドを活用したデジタルトランスフォーメーションに乗るクライアントを 50 以上の国で専門的にサポートしています。AI によるコアを提供し、アジャイルなデジタルを規模化してビジネスを強化し、常に学習し続けることで持続的な改善を推進するために、デジタルスキルや知識、アイデアをイノベーションエコシステムから転送します。私たちは、多様な才能が包括的な職場で繁栄する、適切に統治され、環境に配慮した組織であることに深い責任を感じています。

www.infosys.com を訪れて、Infosys (NSE, BSE, NYSE: INFY) があなたの企業が次に進むためにどのようにお手伝いできるかをご覧ください。

セーフハーバー条項

本リリースの記述は、当社の将来的な成長や財務予測、COVID-19 による従業員や顧客、利害関係者への影響の管理計画など、1995 年私募証券訴訟改革法の「セーフハーバー」条項に規定される「将来予想に関する記述」が含まれています。これらは、多くのリスクや不確定要素が介在しているため、実績と大きく異なる場合があります。このようなリスクと不確定要素には、COVID-19 に関連するリスクと不安定要素およびその拡散を抑制するための政府やその他の対策の効果、インドや米国その他諸国における経済の悪化や景気後退に関するリスク、政情や業況、経済情勢の変化、利益の変動、外国為替レートの変動、当社の成長管理能力、当社のコスト優位性に影響を与え得る要因を含む IT サービス分野における競争の激化、インドと米国での人件費高騰、高い技能を持つ専門的な人材を採用し維持する当社の能力、固定価格・固定時間による契約における時間や経費の超過、顧客の集中化、出入国制限、業界セグメントの集中化、国際業務を管理する当社の能力、当社の主力分野のテクノロジーに対する需要の低下、通信ネットワークの崩壊あるいはシステムの故障、企業買収を成功させる当社の能力、当社サービス契約に対する損害賠償責任、当社が戦略投資した企業の業績、政府援助の打ち切りまたは終了、政治不安および地域紛争、インド国外での増資・企業買収に対する法的制限、当社知的所有権の不正使用、この業界に影響を与える経済情勢、訴訟や政府による調査の結果などがありますが、これらに限定されません。当社の将来的な業績に影響すると思われるその他リスクの詳細については、2022 年会計年度（2023 年 3 月 31 日付）年次報告書（Form 20-F）を含め、米国証券取引委員会に提出された当社報告書に記載されています。これらの報告書は、www.sec.gov でご覧いただけます。インフォシスは、米国証券取引委員会や当社株主への報告書など、書面および口頭により将来の展望を適宜発表する場合がありますが、法律により義務付けられている場合を除き、当社が随時発表する将来の展望について更新する義務を負わないものとします。

お問い合わせ先：

インフォシス 東京オフィス

マーケティング本部長 安藤 jo_ando@infosys.com